

仙北市教育委員会の事務に関する
点検・評価報告書
(平成27年度事業)

平成28年12月
仙北市教育委員会

目 次

1. 点検・評価の趣旨	1
2. 点検・評価の実施	1
3. 点検・評価の方法	1
4. 点検・評価の対象事業	2
5. 外部評価をしていただいた有識者	2
6. 点検・評価の事務事業評価シート	3

1. 点検・評価の趣旨

仙北市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、仙北市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理執行状況について、点検及び評価を実施し、その結果を議会に報告するとともに、公表することにしました。

2. 点検・評価の実施

点検・評価の対象とする事務は、平成27年度に教育委員会が実施した事務事業のうち、教育行政の推進上重要な重要な10事業を選定し点検・評価を実施しました。

3. 点検・評価の方法

事務事業の点検・評価は、事務事業評価シートにより次の方法で行いました。

- (1) 有効性、効率性及び必要性の観点から点検・評価を行うものとし、行政評価要綱に定める評価表により、各種指標を用いて実施します。
- (2) 教育委員会事務局の各課職員は、所管する事務事業について、課長級職員の意見等を踏まえ、教育目標、基本方針及び重点項目の取り組み状況を勘案し、事務事業点検評価の第一次点検評価を行います。
- (3) 第一次点検評価の客観性及び信頼性を確保するため、第三者による仙北市教育委員会事務事業評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置し、第一次点検評価結果について意見を聴取します。
- (4) 前3号により点検・評価した結果並びに評価委員会の意見を踏まえ、総合的な点検・評価を行います。

4. 点検・評価の対象事業

1. 外国青年招致事業
2. J F A夢先生招聘事業
3. 田沢湖学校給食センター管理運営事業
4. 成人式費
5. 角館公民館活動推進事業
6. 自主事業運営費
7. 子ども読書活動推進費
8. チャレンジデー事業
9. 伝建群防災施設整備事業
10. 児童生徒県南美術展開催費

5. 外部評価をしていただいた有識者

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、次の3氏の方々から評価していただきました。

米澤 鐵 夫	角館町平福記念美術館運営審議会委員長
佐藤 正 美	仙北市社会教育委員長・仙北市スポーツ推進委員
田口 桂一郎	仙北市小中学校長会長

参考条文

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

仙北市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

平成27年度事業評価（二次評価）一覧表

No.	評価対象事務事業	評価実施課名	事業概要	一次評価	二次評価	二次評価意見
1	外国青年招致事業	教育総務課	角館・田沢湖・西木の3地区に各1人のALTを配置し、田沢湖・西木の中学校は基本的に隔月で勤務し週1回程度小学校に出務している。角館地区は角中を中心に角館小・中川小（白岩小は西木地区のALTが）に出務している。平成23年度から活用の自由度の高いJET（JET プログラムJapan Exchange and teaching）（自治体国際化協会）の外国青年招致事業として実施している。	B1	B1	今年度末にも明らかになる新学習指導要領（小学校で平成22年度全面実施）では、これまでの小学校5年生から実施されていた外国語活動が小学校3年生から始まり、5年生からは週3時間実施に拡充されることになる。ますます外国語活動の充実が図られる状況にあり、ALTの小学校への拡充が今後必要である。
2	JFA夢先生招聘事業	北浦教育文化研究所	JFA（日本サッカー協会）が、日本や世界で活躍するアスリートを学校に派遣し、児童生徒に夢の実現に関する授業を実施する。	B1	B1	全日本やオリンピック等で活躍する一流のアスリートから、夢を実現するまでの努力や苦勞、挫折、それを乗り越えた葛藤など直に聞く話は、子どもたちに説得力があり、心に響くものである。この事業は、子どもの夢を育む良い教育機会となっている。ぜひ、継続していただきたいし、中学校でも実施してほしい。
3	学校給食センター管理運営事業	田沢湖学校給食センター	安全かつ衛生的に調理業務ができるよう施設の維持管理業務を実施する。調理業務等（運搬を含む）については、民間業者へ業務委託している。	B2	B2	角館給食センターの食洗機等の老朽化をはじめ、施設の維持管理に難儀していることや、角館・田沢湖地区での米飯給食の外部委託による遅配や冬季の冷たいご飯の問題等の課題がある。早期の総合給食センター建設が急務と考える。
4	成人式費	生涯学習課	成人式式典の準備・開催。事前に市内在住の成人式対象者（各中学校から数名）による準備会を設置し、役割分担、アトラクション等の打合せを数回行う。なお、アトラクションについては、成人者により実施の有無、内容が決定される。	A	A	映像を活用するのであれば時間はかかるが、恩師からのメッセージや先輩方の仕事ぶりを紹介してはどうか。二十歳は学生であれば就活前の絶好のタイミングであり、Uターンのかっけけにもなる。成人者の式の運営はとても良い事だ。

No.	評価対象事務事業	評価実施課名	事業概要	一次評価	二次評価	二次評価意見
5	角館公民館活動推進事業	角館公民館	趣味・教養・家庭教育・各種手作り・郷土史・健康などに関する生涯学習講座の開設。また、文化行事（書き初め大会・地区文化祭）・世代間交流事業を開催。	A	A	生涯学習の各活動の情報公開、学習奨励の拠点として必要。施設としては、武家屋敷小野崎家なので、照度が少ない環境だ。逆転の発想でヨガや瞑想など心の落ちつく場所としての活用奨励してはどうか。
6	市民会館自主事業運営費	市民会館	芸術文化の中核機関として市民に質の高い芸術鑑賞機会を提供し、市民の芸術意識を向上する。	C1	C1	1000人収容のホール使用は数が限られるので、少ない人数でも開催できるロビーの模様替えを提案したい。そうする事で利用率も格段に上がるのではないか。
7	子ども読書活動推進費	学習資料館	平成27年度までは、各小中学校に1校あたり260千円(@2000×130冊程度)図書購入予算をつけて、各小中学校で希望する図書を購入していた	B2	B2	児童数に応じて、蔵書購入の増減は至しかたが無いが、向学心をそねる蔵書不足は避けたい。
8	チャレンジデー事業費	スポーツ振興課	市民が気軽に参加できるスポーツイベントを企画し参加を呼び掛けると共に、各個人が自宅や職場でも15分以上の運動をするとチャレンジデーに参加できることを広くアナウンスする。	A	A	人の欠点である「アキル」事を避ける必要がある。高年齢層は年々多くなるので、家の中でも体を動かすマニアル体操を作り（仙北市版）普及推進すれば、自ずから参加率が上がる。
9	伝建群防災施設整備事業	文化財課	今日の観光資源となっている武家屋敷一帯のこの保存地区を、火災から守り後世に引き継ぐため防災施設整備事業を文化庁の補助を受け年次計画で対象区域を整備実施している。	A	A	角館の伝建群は、武家屋敷の風情を残す貴重な建造物と枝垂れ桜などの古木も保護が行き届き、素晴らしい景観を見せています。また、施設内防災整備も年次施行されており、今の景観が未来に保全されていくことを強く望みます。
10	児童生徒県南美術展開催費	平福記念美術館	県南にある小中学校に応募要項を送付し、作品を募集。集まった作品を展示室に展示し、審査会を行い、優秀な作品等を表彰する。	A	A	長く続いている児童生徒美術展は、県南の小中学校で恒例となり、数多くの出品もあり、子供たちにとっても美術館に展示されるのが、誉れと励みになっていると思われまます。「小さな画家」たちの中から将来の作家も誕生する可能性を含んでおり、是非継続して欲しいです。